２００９年度　空間計画設計演習第２
担当　中井検裕、十代田朗、真野洋介、津々見崇、中西正彦

講義の目的・内容
　都市計画／まちづくりを展開させる上での問題意識とその結果に触れ、地域を観察する目を養うとともに、関係者とのディスカッションや、資料収集を経て、計画づくりの基礎的作業を学習することをねらいとする。

第１回　１０月　１日（木）　ガイダンス
第２回　１０月　８日（木）　地域の問題構造発見１：講義（川崎市武蔵小杉）
第３回　１０月２２日（木）　現地見学
第４回　１０月２９日（木）　発表
第５回　１１月　５日（木）　地域の問題構造発見２：講義（台東区谷中）
第６回　１１月１２日（木）　現地見学
第７回　１１月１９日（木）　発表
第８回　１１月２６日（木）　演習：課題内容と対象の説明
第９回　１２月　３日（木）　作業日（まち歩き、対象地選定等）
第 10 回　１２月１０日（木）　作業日（ディスカッション等）
第 11 回　１２月１７日（木）　中間報告（対象地の選定理由、問題と魅力）
第 12 回　１月　７日（木）　素案報告（アイディアをペーパーとして提出、議論）
第 13 回　１月２１日（木）　作業日（オフィスアワー、成果物作成）
第 14 回　１月２８日（木）　最終発表、講評会
※10 月 15 日、1 月 14 日は月曜授業

１．地域の問題を発見する（～第 7 回）　課題とされた地域を対象に、関係者から地域の現状についての講義を受講した後、現地見学を行い、問題を発見して発表する。対象地域は性格の異なる２地域であり、各地域について第１週（講義）、第 2 週（現地見学）、第 3 週（発表）。学生にはパワーポイントを用いたプレゼンテーションが義務付けられる。
２．地域の文脈を読み込み、魅力を発展させる提案作り（第 8～14 回）　課題とされた地域を対象に、計画づくりに必要な資料収集や調査をグループ単位で行う。次いで、地域の魅力を発見するためのワークショップを各グループで行う。資料収集、調査、ワークショップの成果に基づき、学生は個人ベースで図面、パネル、模型などを用いた地域の魅力を向上させるための計画提案を作成し、発表する。